

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 土渉工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	通し番号 4 2-(2) 道路掘削 軟岩 A について、特記仕様書には「本線部（土渉橋～STA. 155+50付近の切土部を除く）における軟岩の掘削、積込み」と記載がありますが、数量明細表では土渉トンネルに数量が計上されています。どちらが正しいのでしょうか。	番号 4 2-(2) 道路掘削 軟岩 A については、土渉トンネル本線明り部の数量を含んでおります。 図面の構成上、該当部分は設計図(8/12) 土渉トンネル内に数量を記載しているため、数量明細表上では土渉トンネルに数量を計上しております。
2	特記仕様書に、相野々橋仮桟橋 A3 は撤去すると記載されています。それに伴い、相野々橋工事用道路、施工ヤードは全て撤去するのでしょうか。1/273・数量総括表の道路掘削 土砂（表土）A 相野々橋工事用道路（3,041m ³ ）・施工ヤード（1,006.8m ³ ）の土量から判断すると、全ての工事用道路・施工ヤードを撤去すると考えられますが、よろしいでしょうか。	そのとおりです。 なお、相野々橋すべての工事用道路・施工ヤードの撤去は、道路掘削 土砂 A 及び捨土掘削 土砂 A により構成されています。
3	相野々橋施工ヤードについて、114/273・P1～P2 橋脚施工ヤード横断図から算出した土量と、1/273・数量総括表の数量に相違があります。115/273・P3～P4 橋脚高架下整形において掘削が発生するのでしょうか。土量を算出できる横断図等をご提示ください。	設計図（10/12）1/273 数量総括表に記載する相野々橋施工ヤードに対する道路掘削 土砂 A の数量は、P1～P2 施工ヤード及び P3～P4 橋脚高架下整形図より構成されています。 相野々橋 P3～P4 橋脚高架下整形における土量は閲覧資料に記載のとおりです。